



XML Consortium

～参加者の興味ある活動でスキル向上を目指して～  
**関西部会活動報告**

XMLコンソーシアムDay

**関西部会**

**株式会社ブレインワークス 芦田 尚人**

# 本日の発表



2008年度活動状況報告

1) 活動内容検討

2) テクノロジー習得実装

3) 外部団体交流

2009年度活動方針

# 参加メンバー(今年度活動者)



XML Consortium

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ■ マイクロソフト       | 依田 忠高         |
| ■ コベルコシステム      | 幸田 健(サブリーダー)  |
| ■ アークウェイ        | 丸山 和秀(サブリーダー) |
| ■ ブレイニーワークス     | 中川 聖悠         |
| ■ ブレイニーワークス     | 伊川 和宏         |
| ■ ブレイニーワークス     | 松尾 萌          |
| ■ ブレイニーワークス     | 宮原 功拓         |
| ■ ブレイニーワークス     | 芦田 尚人(リーダー)   |
| ■ 日本アイ・ビー・エム    | 伊藤 健太郎        |
| ■ 日立システムアンドサービス | 高嶋 裕          |
| ■ ブレイニーワークス     | 山田 恭子         |
| ■ ブレイニーワークス     | 阪本 幸司         |
| ■ ブレイニーワークス     | 田島 紀子         |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 土井 契          |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 坂口 文吾         |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 大岩 正典         |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 小菅 史人         |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 岡本 一貴         |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 伊藤 寛          |
| ■ STNet         | 柏原 丈二         |
| ■ STNet         | 阿部 淳也         |
| ■ ジェー・アイ・イー・シー  | 赤松 芳彦         |

半数近くが新規活動者

- 関西という地域での活動を実施する。  
地域でのXMLに関する活動を行う。

## 主な活動

XML Consortium  
テクニカル  
ビジネス



2005年度  
Web2.0アプリ  
『いまどこ』

2006年度  
更にWeb2.0アプリ  
『いまどこ2』

2007年度  
ビジネスプロセスモデ  
リング及び実装  
『花屋さん』

参加者の志向から、ビジネス、テクニカルを問わず活動を実施

# 2008年度活動検討



## 2008年度参加者の意向

**自社の業務で行わない経験をしたい**

同じ業務、同じスキルの業務が長く、新しいスキルを取得したい  
業務と異なる技術に触れあう機会が少ない。  
とくかく勉強したい。

**知らないことを知る時間がほしい。**

勉強会の開催の検討

**多くの方と知り合う機会でありたい**

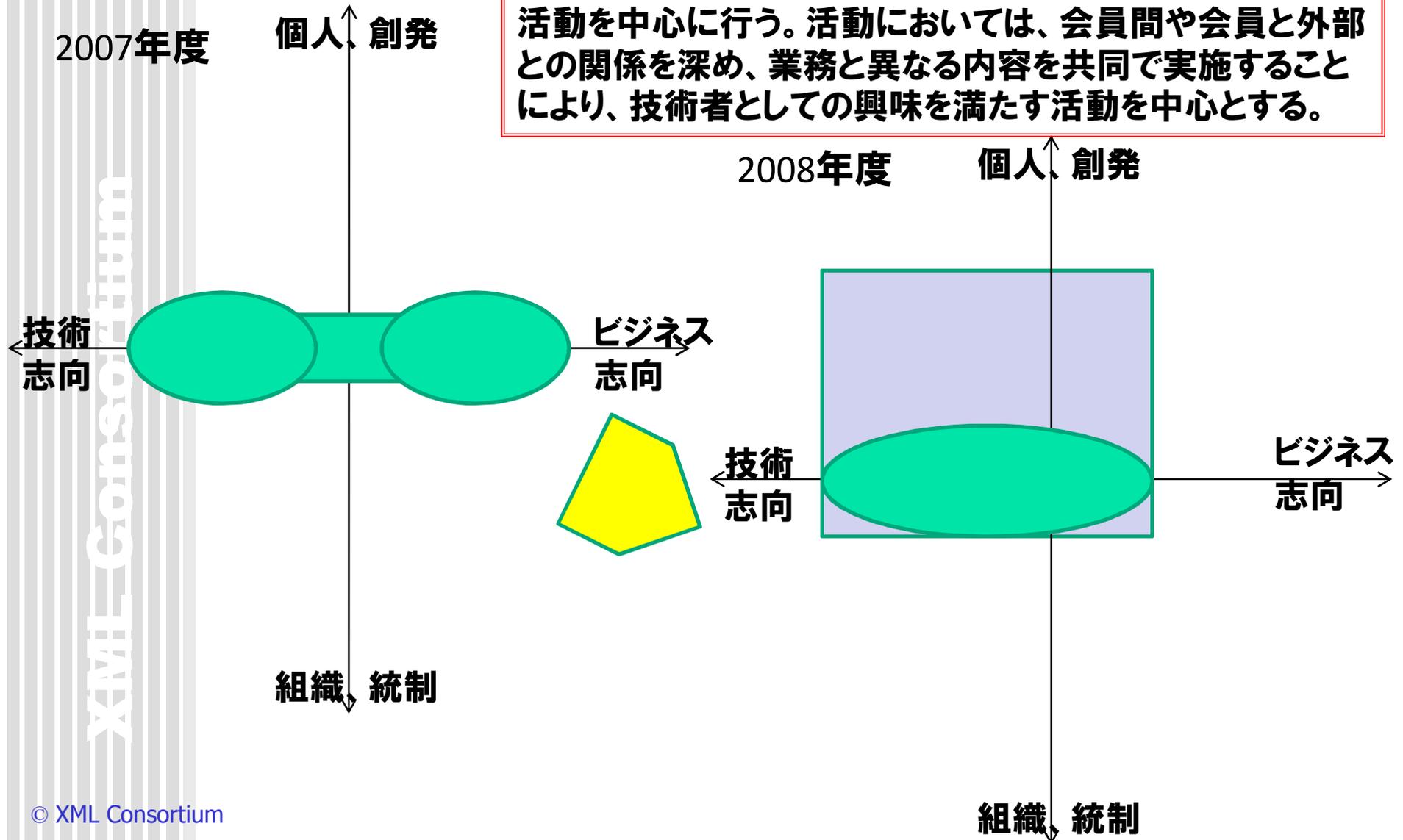
社内、顧客との接点以外が少ない。

**参加者は、1年目より20年以上の経験者まで幅広く構成**

# 2008年度の活動方針



企業を離れた技術者としての興味、価値の向上を目指した活動を中心に行う。活動においては、会員間や会員と外部との関係を深め、業務と異なる内容を共同で実施することにより、技術者としての興味を満たす活動を中心とする。



# 2008年度の活動骨子



**新しいことの経験**

**参加者の経験の幅の広さ**



**勉強会の実施**

**新規の実装の実施**

**新しいテクノロジーの活用経験の蓄積**

**参加者とは異なる環境の方々との交わり**

## 1. 勉強会の実施

- データオントロジー
- SilverLight
- 流通BMS
- AIR実装勉強会

## 2. 新しいテクノロジーの実装経験

新しいテクノロジーを活用した実装経験

## 3. 他団体との交流

技術者としての刺激

# 新しいテクノロジーの実装経験



## 実装経験の条件と検討

気軽に試せる。

サーバーが不要

成果として部会で共有できる。

共同で作業を実施できる

興味がある内容である。

全員の意見を集約する。

人数に関係なく実施可能である。

個人でも実施可能

新しく今後も活用できるテクノロジーである。

現状を考えて考察する。

XMLに関するテクノロジーである。

WebAPI、Flexの採用

# 新しいテクノロジーの実装経験



XML Consortium



## 関西部会実装経験成果物

キャンバス

アプリ

# 新しいテクノロジーの実装経験



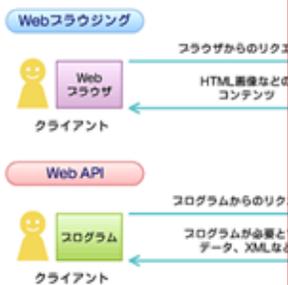
## WebAPI調査(独自資料)--前提の勉強会

### 1. Web APIとは

- Web Application Programming Interfaceの略で、Web上で使用可能なAPIのこと
- YahooやGoogleの、提供しているWeb APIを利用可能なWebアプリケーション
- 使用するのにWebサイトの場合がある。

### 2. 仕組み

- Web APIを利用して、クライアントからサーバへリクエストを送信し、そのレスポンスを受け取る
- レスポンスの形式に、XMLやJSONなどがある



### 通信方式

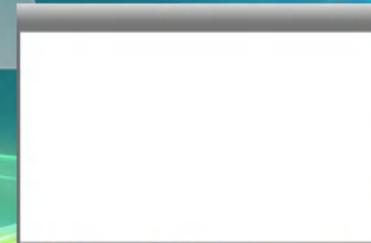
- XML-RPC: XMLベース  
はてなブックマークカウンタ、JUGEM投稿APIなど。
- SOAP/WSDL: XMLベース  
Yahoo オークションAPI、楽天市場APIなど。
- REST: XML、JSONなど  
Yahoo全般のAPI、AMAZONなど

# 新しいテクノロジーの実装経験



実装経験集約のイメージ

キャンパスイメージ



XML Consortium

# 外部団体交流



- **経緯**  
部会参加者が、限られる中、あらゆる刺激を受けていきたい。  
⇒ 魅力ある部会運営  
部会参加者は、IT業界である。  
⇒ 異なる考え方の意見も聞きたい。

## 【コミュニティ】の本質の実現

- **実施内容**  
大学研究室ゼミ生との会合
- **実施日**  
11月
- **参加数**  
学生、教授: 15~20名  
部会: 15名
- **実施内容**  
双方からの紹介発表  
大学: 研究室紹介、卒論紹介  
部会: 現状の活動  
ワークグループに分かれたワークショップ。  
(家庭に役立つシステム) 例: 埃の活用などなど

# 座談会を通じて感じた内容



## 参加者意見

普段のかかわる年代とは異なり、生活スタイルから刺激を受ける。  
研究開発内容も、現状のビジネスとは異なる観点のため、発想が養われる。

発想自体が、ユニークであり刺激を受ける。

こちらよりビジネスのことを話をする事により、知らない世界への興味で喜ばれ、  
うれしい。

今後も継続を行いたい。(参加者全員の意見)

さらに、学校以外にも・・・

機会があれば、会合の申し出を行い、参加者が刺激を受ける場を  
設けたい。

2009年度も大学より開催依頼あり

# 2008年度の活動結果



## 1. 新規活動者の増加

新たな活動への挑戦機会

## 2. 既存活動者の減少

職務の変更

既存活動会社の別参加者の推進

変動があることが、生きるコミュニティとして認識

元気に楽しく意義ある活動

# 2009年度の活動方針



**目標：関西での就業される方の活動の場を提供**

**参加者の増加**

**活動成果への評価**

**2009年活動方針**

**目標：関西での就業される方の経験公開の場の提供**

**部会合同への参加**

**防災XML活用へ参加**

**元気に楽しく意義ある活動を目指す**

# 2009年関西部会



- 関西という地域での活動を実施する。  
地域でのXMLに関する活動を行う。

実装の経験を生かしてコンソーシアムでの合同プロジェクトへの参加

主な活動

XMLコンソーシアム

XX部会

防災XML実証

テクニカル  
ビジネス

関西部会

2005年度  
Web2.0アプリ  
『いまどこ』

2006年度  
更にWeb2.0アプリ  
『いまどこ2』

2006年度  
WebAPIを用いた  
実装経験

2007年度  
ビジネスプロセスモデ  
リング及び実装  
『花屋さん』

参加者の志向から、ビジネス、テクニカルを問わず活動を実施